

《キーワード》 人口動態、老化、高齢者歯科治療、摂食嚥下障害、オーラルヘルスケア、在宅診療

《担当者名》 越野 寿 會田 英紀

【概要】

高齢者が健康で、質の高い生活を送るためには、まず、顎口腔機能の維持が必要である。歯の喪失には老化因子が関与しており、加齢の徴候が顎口腔系組織・器官に顕れる。また、恒常性維持機能の低下により健康が脅かされやすい状態にある。したがって、高齢者の身体的・精神的特徴を把握する必要がある。また、その歯科治療に関しては、全身管理、薬物動態についての知識が必要である。

誤嚥性肺炎と摂食嚥下障害やオーラルヘルスケアとの密接な関連、さらには、脳梗塞・脳出血後のリハビリテーションに果たす咀嚼の役割など、歯科治療の重要性が広く認識されるようになっていることから、高齢者の歯科治療を適切に実践できる知識・技能・態度を養成する。

【学修目標】

1. 人口動態、老化学説について説明できる。
2. 高齢者の身体的・精神的特徴を説明できる。
3. 高齢者歯科治療における全身管理、薬物動態に関して説明できる。
4. 高齢者歯科治療を行うことができる。
5. オーラルヘルスケアの重要性を理解し、口腔ケア等を実践することができる。
6. 摂食嚥下障害患者の準備期、口腔期、咽頭期における診察・検査・診断を行うことができる。
7. 在宅要介護高齢者、施設入所高齢者の歯科治療を行うことができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	人口動態、老化		越野 寿 會田 英紀
2	高齢者の身体的・精神的特徴		越野 寿 會田 英紀
3	高齢者の全身疾患		越野 寿 會田 英紀
4	高齢者歯科治療における全身管理、薬物動態		越野 寿 會田 英紀
5	オーラルヘルスケアと口腔ケア		越野 寿 會田 英紀
6	摂食嚥下障害患者の歯科治療		越野 寿 會田 英紀
7	高齢者に対する各種の歯科処置に関する要点		越野 寿 會田 英紀
8	在宅要介護高齢者、施設入所高齢者の歯科治療		越野 寿 會田 英紀

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席状況、提出物

【学修の準備】

日本老年歯科医学会、日本補綴歯科学会の診療ガイドラインを検索し、該当するガイドラインに目を通しておくこと。